

Environmental Sustainability Report

# 環境経営報告書

2024年実績

20  
25

# Contents

---

- 1 環境報告書の説明
- 2 社長ごあいさつ
- 3 企業理念
- 4 事業概要
- 5 環境マネジメント体制
- 6 2024年環境マネジメント計画と結果・評価
- 7 環境経営の概要
- 8 監査・コンプライアンス遵守・マネジメントレビュー
- 9 環境経営実績



## 環境報告書の説明

### 編集方針

近年、多くのステークホルダーから CSR（企業の社会的責任）の視点での企業活動を強く求められています。CSR とは企業が自社の利益を追求するだけでなく、自らの組織活動が社会へ与えるあらゆる影響に責任を持ち、適切な意思決定を行うことです。今、世界では環境汚染、地球温暖化、自然災害、資源・エネルギー・食糧需給のひっ迫、児童労働などの人権問題など、人類社会の持続的発展を脅かすさまざまな課題が顕在化しています。企業が永続的に地域社会と共生し発展するためには、企業自らが社会の一構成員としてこれらの課題解決に真摯に向き合い、事業活動のあらゆる面で社会的責任を果たし、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献する存在でなければなりません。

当社は創業来、企業としての社会的価値を生み出す源泉は社員であるとの考えから、社員重視の経営を続けてきました。企業としての社会的責任を持続的に果たしていくため、これからも社員を大切に育成し、コンプライアンスやサステナビリティの意識の浸透はもとより、社員が健康で働きがいや幸せをより一層感じられる健康・幸福経営にも取り組んでいきます。

兵神装備はこれからもさまざまな創意工夫で社会に貢献することを第一に、公正かつ透明な企業行動に徹するとともに、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

本報告書は当社グループの経営と環境への取り組みの全体像を環境経営レポートを参考にしてステークホルダーのみなさまの視点を重視した編集に努めました。

兵神装備株式会社  
代表取締役社長 市田 邦洋

報告対象 兵神装備株式会社、ヘイシンテクノベルク株式会社、プロキューブ株式会社

対象期間 2024年1月-12月 発行年月 2025年7月

編集・発行 環境管理委員会 発行責任者 品質・環境管理責任者：山根哲男

## ごあいさつ

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

弊社は 1968 年の創業以来、半世紀を超えてモノポンプ®一筋に歩んでまいりました。その間、常にお客さまの困りごとに寄り添い、「こんなことができないか」というお客さまの声に応えることで技術を磨いてきました。おかげさまで今日、船舶、上下水道、食品、化学、製紙、土木・建築、自動車、電機など、さまざまな産業分野でモノポンプ®を活用いただいています。

当社は、われわれの事業活動が環境に及ぼすさまざまな影響に真摯に向き合うとともに、自然・地域社会などの外部環境および人材育成や健康・職場といった内部環境にも目を向け、それらが経営に与える影響を的確に捉え、適切に管理しながら、持続可能な発展を目指した取り組みを続けています。今後もその実践と成果を環境経営として示し、社会との共生を図ってまいります。

これからも兵神装備は、企業理念に掲げる「卓越した流体技術と創意で世界を支える」を体現し、お客さまの課題解決を通じて社会への貢献を果たすことで「持続可能な社会の実現」に向けた歩みを進めてまいります。



兵神装備株式会社  
代表取締役社長 市田 邦洋



## 企業理念



### 基本理念 卓越した流体技術と創意で世界を支える

#### ビジョン

- ・ お客様満足の最大化を目指します
- ・ 卓越した流体技術を提供する研究開発型企業になります
- ・ 働きがいのある職場環境をつくります
- ・ 社会への貢献を続けます

#### 経営方針

当社は今後とも、移送テクノロジーの追求から得られる知見をもとに、独自の製品で社会に貢献することを第一の使命とし、不易流行の精神で、新たな未来を切り拓いてまいります。

#### 環境方針

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。
  - i. 資源・エネルギーの効率利用：資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達を促進します。
  - ii. 環境にやさしい製品の設計・開発：有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発を行います。
  - iii. 環境製品の販売促進活動：社会の省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売を促進します。
  - iv. 環境にやさしいアフターサービスの提供：顧客へのメンテナンスサービスの提供により、製品の予防保全や長寿命化を促進します。
  - v. 排出物の適正処理：化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理を行います。
  - vi. 廃棄物の削減及び適正処理：廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。
2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受け入れを決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。
3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図ります。
4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。
5. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善を行います。

## 事業概要

**事業内容** 産業用ポンプ（モノポンプ<sup>®</sup>・モノディスペンサー<sup>®</sup>）および周辺機器の製造・販売

**事業拠点** 営業拠点 研究開発拠点 サービス拠点 プロモーション



### 事業規模と経営概要

| 年度           | 2022       | 2023       | 2024       |
|--------------|------------|------------|------------|
| 業績（売上金額 \ 千） | 15,568,642 | 16,594,736 | 16,954,117 |
| 社員数（人）（*1）   | 464        | 469        | 485        |
| 労働時間（h）（*2）  | 860,885    | 881,131    | 904,631    |

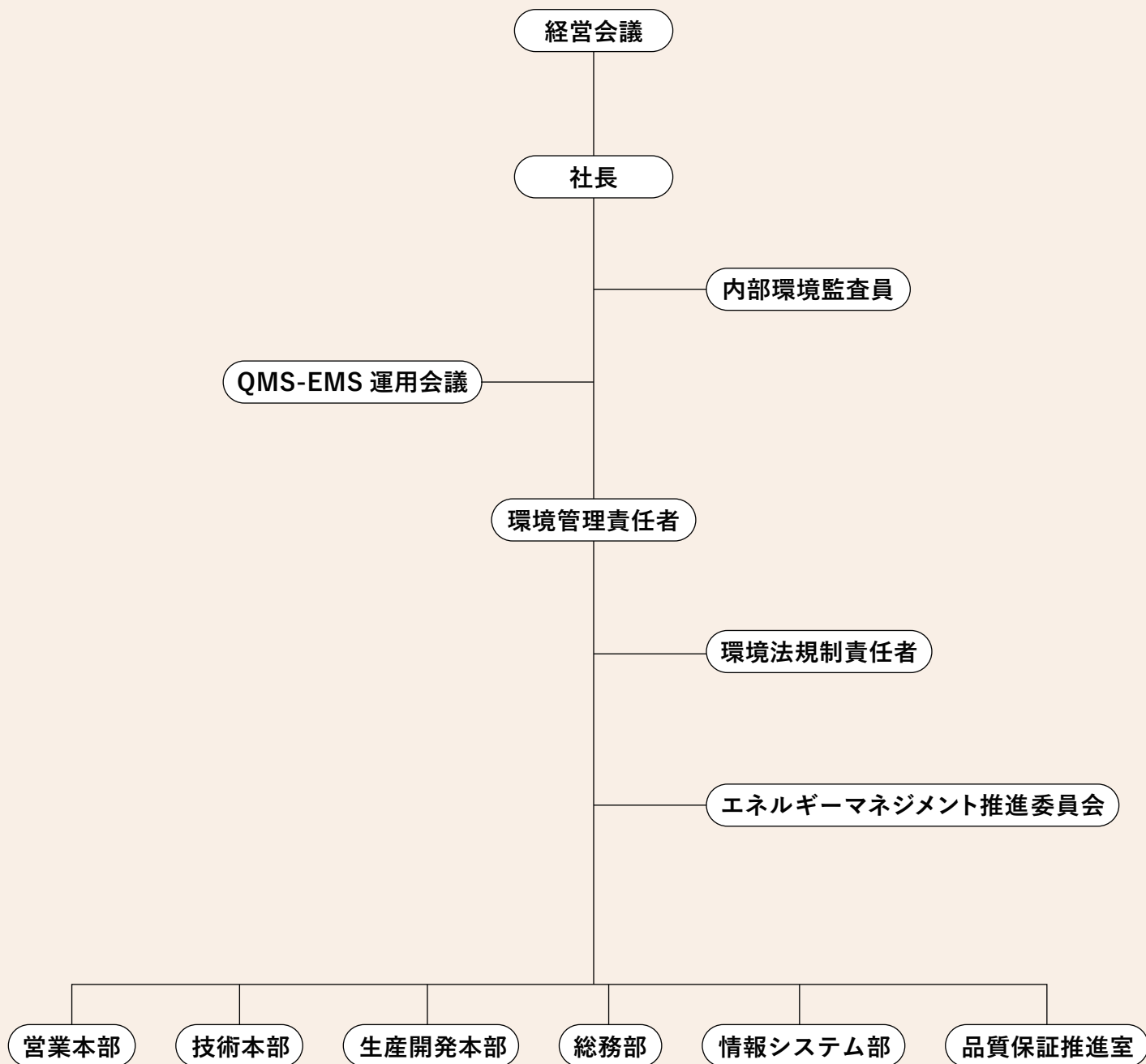
|                |               |        |
|----------------|---------------|--------|
| 主要事業所 延べ床面積（㎡） | 本社            | 3,645  |
|                | 滋賀事業所         | 33,016 |
|                | 横浜プロモーションセンター | 2,345  |

（\*1）12月時点の単体ベース集計 （\*2）勤怠管理から集計した全社員の就業時間



## 環境マネジメント体制

2024年



# 6-1

## 2024年環境マネジメント計画と結果・評価

### 営業本部（販売）

| 環境方針                          | 計画                                                                                           | 目標                                                                                           | 部門長評価 |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 社会の省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売を促進する | <ul style="list-style-type: none"><li>重点販売機種</li><li>省資源・省エネに寄与する製品の販売促進</li></ul>           | <ul style="list-style-type: none"><li>機種ごとに販売目標台数</li></ul>                                  | △     |
|                               | <ul style="list-style-type: none"><li>旧製品の更新を推進</li></ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>稼働機情報の登録目標件数</li><li>旧製品の更新目標台数</li></ul>              | △     |
| 営業品質を高め日常業務の無駄をなくし業務効率を上げる    | <ul style="list-style-type: none"><li>業務平準化及び効率化、手配指示の平準化</li><li>営業ミスに起因する販売不良の削減</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>手配指示の月末集中を解消する目標率</li><li>営業ミスによる販売不良の削減目標件数</li></ul> | ×     |
| 資源・エネルギーの効率利用                 | <ul style="list-style-type: none"><li>資源削減</li></ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>お客様納入仕様書の電子図書発行の目標率</li></ul>                          | ○     |
|                               | <ul style="list-style-type: none"><li>健康経営の促進</li></ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"><li>車両交通事故0件</li></ul>                                     | ×     |



2024年環境マネジメント計画と結果・評価

営業本部（アフターサービス）

| 環境方針                                    | 計画                               | 目標                                    | 部門長評価 |
|-----------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|-------|
| お客様へ適切なメンテナンスサービスの提供により、製品の予防保全や長寿命化を促進 | ・ アフターサービス力の向上                   | ・ 処理場及び民間ユーザーへの巡回訪問目標件数               | △     |
|                                         | ・ アフターサービス業務の生産性向上               | ・ 部品供給不良及びメンテナンス不良の削減目標件数             | △     |
|                                         | ・ アフターサービスステーションの強化              | ・ 個別研修の実施目標件数<br>・ 新規サービスステーション立ち上げ検討 | △     |
| 省資源・省エネに貢献するアフターサービス販売を促進               | ・ アフターサービス採算評価<br>・ ヒューマンリソースの検討 | ・ 環境側面に貢献するアフターサービスの見積もり及び受注の目標件数     | △     |

# 6-3

## 2024年環境マネジメント計画と結果・評価

### 技術本部

| 環境方針                          | 計画                                                                                              | 目標                                                       | 部門長評価 |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------|
| 受注設計プロセスへのアプローチ               | <ul style="list-style-type: none"><li>設計にかかる業務効率化</li><li>法規制対応、物質管理に関する7テーマに取り組み</li></ul>     | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | ○     |
| エンジニアリングプロセスへのアプローチ           | <ul style="list-style-type: none"><li>提供する製品・サービスへの質向上、業務プロセス改善に関する7テーマに取り組み</li></ul>          | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | ○     |
| 製品開発プロセスへのアプローチ               | <ul style="list-style-type: none"><li>モニタリングシステムリリースによるDXの活用によってCX・EXの推進強化など4テーマに取り組み</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | △     |
| マネジメントシステム運用へのアプローチ           | <ul style="list-style-type: none"><li>技術者のコンプライアンス、災害時BCPの構築など3テーマに取り組み</li></ul>               | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | ○     |
| 生産性向上へのアプローチ<br>(DX活用・コストダウン) | <ul style="list-style-type: none"><li>E-BOMの有効利用、IoT技術の社内活用、DX人材育成など5テーマに取り組み</li></ul>         | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | △     |
| 顧客創造へのアプローチ<br>(CX向上・高付加価値化)  | <ul style="list-style-type: none"><li>CX、DXによる高付加価値化の実現、ディスペンサービジネスなど4テーマに取り組み</li></ul>        | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | ○     |
| 健康経営へのアプローチ<br>(EX向上・人材育成)    | <ul style="list-style-type: none"><li>社員教育、従業員満足、健康増進に関する6テーマに取り組み</li></ul>                    | <ul style="list-style-type: none"><li>成果物と進捗管理</li></ul> | ○     |



## 2024年環境マネジメント計画と結果・評価

## 生産開発本部

| 環境方針                                 | 計画                                    | 目標             | 部門長評価 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------|-------|
| 限りある資源を大切にし、<br>環境にやさしい製品を提供<br>し続ける | ・ 市場クレーム撲滅に関する各工程の品質環境改善に向けた取り組み7テーマ  | ・ 市場クレーム件数の削減  | △     |
|                                      | ・ 工程内不適合の削減に関する各組織の品質環境改善に向けた取り組み9テーマ | ・ 工程内不適合件数の削減  | ○     |
|                                      | ・ 表面処理加工の改善 - 生産性向上                   | ・ 良品率98%以上     | △     |
|                                      | ・ 開発テーマの品質・環境統合マネジメントシステムレビューの確立と運用   | ・ テクニカルレビュー評価  | ○     |
|                                      | ・ 職場環境・人材育成環境の取り組み                    | ・ 品質道場の運用      | ○     |
|                                      | ・ 社内加工品の良品率を上げ生産性向上                   | ・ 基幹部品の良品率向上   | △     |
|                                      | ・ サステナビリティ活動の推進<br>・ 化石燃料の削減と廃棄ロスの削減  | ・ 設備更新と廃棄ロス削減  | ○     |
|                                      | ・ サプライヤーとの良好な関係維持、品質管理の向上             | ・ 品質環境監査と良品率向上 | ○     |

2024年環境マネジメント計画と結果・評価

総務部

| 環境方針                     | 計画                        | 目標                       | 部門長評価 |
|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-------|
| サステナビリティの本質理解            | ・ 勤務時間外の電力使用の低減活動         | ・ 利用者による照明とモニターのオフの徹底    | ○     |
|                          | ・ 共有サーバーの電子データの削減         | ・ 10%削減                  | △     |
|                          | ・ 営業車両の交通事故削減にともなう環境側面の低減 | ・ 交通事故発生件数の低減            | ×     |
| 製品実現プロセスにおける環境負荷低減と生産性向上 | ・ 電力管理システムの有効活用           | ・ 滋賀事業所各サイト・設備の電力量把握と最適化 | ○     |
|                          | ・ 脱炭素クラウド「アスゼロ」導入推進       | ・ Scope1, 2, 3の可視化       | ○     |



## 2024年環境マネジメント計画と結果・評価

### 情報システム部

| 環境方針     | 計画                                                                   | 目標                                                         | 部門長評価       |
|----------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-------------|
| 使用電力量の低減 | <ul style="list-style-type: none"><li>サーバー統合による稼働物理台数の削減</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>計画に対する進捗管理</li></ul> | <div></div> |
| 資源の有効利用  | <ul style="list-style-type: none"><li>Windows11用PCのレンタル化準備</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>計画に対する進捗管理</li></ul> | <div></div> |

## 2024年環境マネジメント計画と結果・評価

### 品質保証推進室

| 環境方針                | 計画                                                                                                                                      | 目標                                                                             | 部門長評価 |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 営業本部の環境側面の運用をサポートする | <ul style="list-style-type: none"> <li>アフターサービスにおけるアスベストの調査と対応、体制づくり</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画に対する進捗管理</li> <li>第2四半期で完了</li> </ul> | ○     |
| 環境マネジメント教育          | <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅社員向け環境マネジメントシステムの研修を登録し運用する</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画に対する進捗管理</li> </ul>                   | ○     |
| マネジメントシステムのレベルアップ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査のレベルアップ教育</li> <li>有効性の確認 - 評価</li> <li>マネジメントシステムの形骸化防止</li> <li>外部専門家の指導、ロールプレイ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画に対する進捗管理</li> </ul>                   | ○     |



## 環境経営の概要

7-1 環境製品

7-2 教育・人材育成環境

7-3 生産開発拠点の環境づくり用地利用

7-4 職場環境

7-5 健康経営・健康増進

7-6 地域社会環境の貢献

## 環境経営の概要

### 環境製品

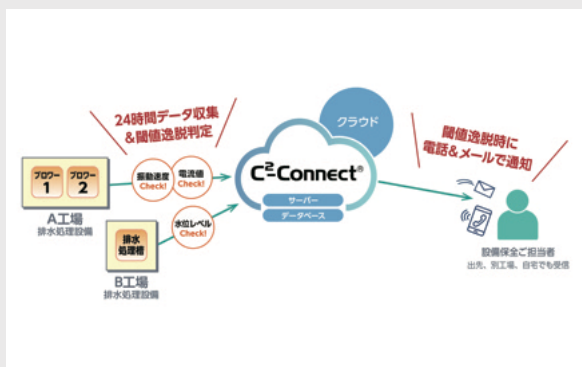
#### 設備環境の配慮と効率性を両立する新製品



モノポンプ<sup>®</sup> NYM 型、NEM 型はメンテナンス性を向上させ、配管を外さずに点検が可能。メンテナンス時間やコスト低減、廃棄物・エネルギー削減を通じて環境負荷を軽減します。



#### 遠隔監視システムで環境配慮型の価値提供 - 持続可能な未来へ



遠隔監視システム「C2-Connect」は、IoT技術により設備データを解析し、運転効率改善や資源浪費を防止。周囲の環境負荷を軽減しつつ、モノポンプ<sup>®</sup>の安定稼働と運用コスト削減を実現します。



#### 次世代燃料船へのモノポンプ<sup>®</sup>採用を通じた地球温暖化対策への貢献



当社のモノポンプ<sup>®</sup>がメタノール・アンモニア等を燃料にする次世代燃料船に採用され、船舶のクリーンエネルギー推進と温暖化対策に貢献しています。





# 7-2

## 環境経営の概要

### 教育・人材育成環境

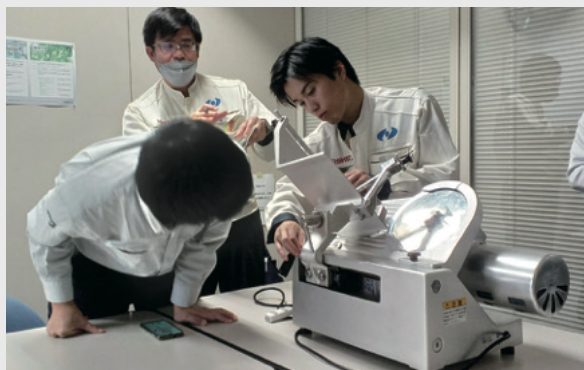
#### サービスステーション研修会を通じた環境保全と技術力向上への取り組み



メンテナンス技術者に環境保全や法令遵守、廃棄物処理などの研修を実施。高品質なアフターサービスを通じ、持続可能な社会づくりに貢献しています。



#### 安全・衛生設計教育を通じた持続可能な製品づくり



国際安全規格のセミナーやリスクアセスメントを通じ、安全で衛生的な製品設計を促進。国際的な食品安全規格に対応し、信頼性の高い製品を提供します。



#### 人材育成を通じた持続可能なものづくりの推進



技能検定や技能五輪に挑戦し、創意工夫や責任感を重視した教育を展開。次世代を担う広い視野を持つ人材育成を推進しています。



## 環境経営の概要

### 教育・人材育成環境

#### 生成AIの活用による営業活動の効率化



営業活動に生成 AI ツールを導入。提案書や議事録作成を効率化し、迅速な顧客対応が環境負荷軽減にも寄与しています。

#### ヘイシンバイブル：持続可能な未来をつなぐ経営指針



社是を解説した「Heishin Bible」を社経営を支える行動基盤として、持続可  
なげています。





# 7-3

## 環境経営の概要

### 生産開発拠点の環境づくり用地利用

滋賀事業所用地活用：持続可能な未来への基盤づくり

隣接用地に次世代型ものづくりの施設を構想、環境配慮型エネルギー設備や防災拠点整備を推進。  
環境負荷削減と地域共生を実現しています。



# 7-4

## 環境経営の概要

### 職場環境

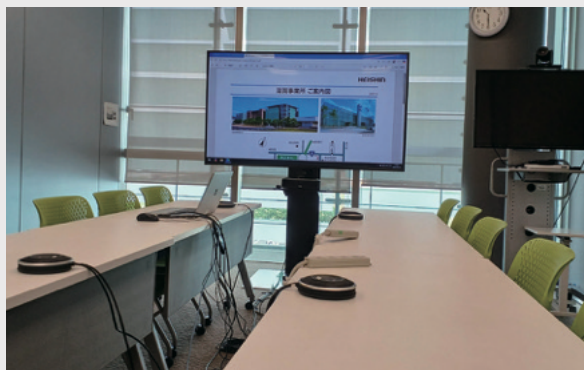
#### ローター洗浄作業の自動化で環境負荷を大幅削減



溶剤を使わない洗浄設備を導入し、作業時間を 70% 短縮。環境と作業者双方に配慮した効率的なプロセスを実現しています。



#### 会議環境の改善で快適性とエネルギー効率を向上



会議室プロジェクターを液晶やレーザーディスプレイへ更新。視認性と省エネ効果を向上させ、職場環境の快適化と環境負荷軽減を推進します。





## 環境経営の概要

### 健康経営・健康増進

#### 健康経営優良法人2024に認定

社員とその家族の健康維持・促進に注力し、「健康経営優良法人 2024」に認定。働きやすい職場環境を整備し、幸福経営を推進しています。



# 7-6

## 環境経営の概要

### 地域社会の環境貢献

#### 地域住民の子育て、教育、生活、社会的環境への貢献



#### 1. 子どもたちへの科学教育支援 - ミニロボ & ポンプ組立教室

ヘイシンイニシアティブ基金では、ミニロボ教室やポンプ組立教室で科学やものづくりの興味を啓発。地域住民との信頼構築に寄与しています。



#### 2. 環境保全と多文化共生への支援

非営利団体と協力し地域の環境保全や多文化共生を支援。持続可能な地域社会づくりに取り組んでいます。



#### 3. 古着 de ワクチン: リユースで広がる環境と社会への貢献

古着リユースによる収益を、途上国のワクチン接種支援に充当。環境保全と健康支援を通じて社会貢献の輪を広げています。





## 監査・コンプライアンス・マネジメントレビュー

### コンプライアンス遵守

#### ISO 9001/14001 再認証審査の結果と環境経営

当社は2024年5月から6月にかけて、ISO 9001/14001再認証審査を4拠点で受審し、不適合なしとの評価を得ました。この審査により、事業活動が環境法規制を遵守しつつ、品質と環境マネジメントの両面で改善を重ね、有効に運用されていることが確認されました。PDCAサイクルを徹底し、ムダの排除や効率化を促進することで環境側面を向上させるとともに、持続可能な経営に寄与しています。今後も外部審査の質を向上させつつ、環境負荷削減と企業価値の向上を目指します。



#### コンプライアンス遵守

事業活動に関する環境法規制および対象を「環境法規制等登録簿」で明確化し、それに基づいた遵守活動を行っています。各部門の環境法規制担当者が、現場や各拠点での日々の遵守活動について評価を実施した結果、該当する全ての環境法規制が適切に遵守されていることを確認しました。引き続き全社員が法規制等に基づいた活動を継続することで、環境コンプライアンスが遵守されることを確実にしていきます。

#### マネジメントレビュー

品質・環境活動の1年間の成果と課題を次年度の計画に反映するため、社長によるマネジメントレビューを11月の執行役員会にて実施しています。2024年のレビューは、「環境活動において部分最適にならないよう、大きな成果に繋がる全社共通のテーマを定め、それに取り組んだ結果、期待される効果も決めて評価していく仕組みへ変えていくこと」という方針を示していただきました。サステナビリティ経営およびカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みも考慮に入れて、環境方針および環境目標の見直し等を進めていきます。

## 環境経営実績

事業活動に伴う環境負荷の自己チェックでは、2022-2023年と対比して売上比と主要事業延べ床面積比あたりの環境負荷を維持していることを確認しました。

### インプット

| エネルギー                  |        | 2022      | 2023      | 2024         |                |
|------------------------|--------|-----------|-----------|--------------|----------------|
| 電力 kWh                 | 総使用量   | 2,900,394 | 3,048,101 | 3,416,764    | kWh            |
|                        | 太陽光発電量 | -610,162  | -817,884  | (*1)-452,755 | kWh            |
|                        | 正味買電量  | 2,290,223 | 2,230,217 | 2,964,009    | kWh            |
| ガス（LPG等）               |        | 19,996    | 21,569    | 21,099       | m <sup>3</sup> |
| ガソリン                   |        | 68,450    | 68,934    | 66,078       | ℓ              |
| 軽油                     |        | 6,610     | 6,671     | 6,695        | ℓ              |
| 灯油                     |        | 6,544     | 4,534     | 3,428        | ℓ              |
| 換算 CO <sub>2</sub> 排出量 |        | 1,152     | 1,137     | (*2)1,604    | ton            |

(\*1):2024 年から太陽光発電量の売電分を除外しました (\*2):2024 年から CO<sub>2</sub> 排出量換算の係数を変更しました

| 資源        |  | 2022   | 2023   | 2024   |                |
|-----------|--|--------|--------|--------|----------------|
| 金属        |  | 778.1  | 816.8  | 758.8  | ton            |
| ゴム        |  | 46.8   | 48.2   | 44.2   | ton            |
| プラスチック    |  | 3.3    | 2.7    | 2.5    | ton            |
| ウエス       |  | 1.1    | 1.4    | 2.3    | ton            |
| ダンボール     |  | 19.7   | 65.3   | 30.0   | ton            |
| 木材        |  | 17.5   | 14.1   | 16.2   | ton            |
| 紙（コピー用紙他） |  | 6.9    | 6.0    | 6.1    | ton            |
| 上水        |  | 1,396  | 1,921  | 1,962  | m <sup>3</sup> |
| 地下水       |  | 12,261 | 17,463 | 17,748 | m <sup>3</sup> |

| 化学物質・その他    |  | 2022 | 2023 | 2024 |     |
|-------------|--|------|------|------|-----|
| 塗料 / 接着剤    |  | 6.7  | 7.5  | 7.7  | ton |
| 溶剤（シンナー等）   |  | 1.7  | 1.7  | 1.7  | ton |
| 油類（切削油、潤滑油） |  | 5.3  | 5.2  | 1.8  | ton |



## アウトプット

| 製品・サービス  |  | 2022  | 2023  | 2024  |     |
|----------|--|-------|-------|-------|-----|
| 製品       |  | 569.4 | 546.9 | 536.6 | ton |
| アフターサービス |  | 157.4 | 157.4 | 175.8 | ton |

| 資源・循環リサイクル |         | 2022 | 2023 | 2024 |     |
|------------|---------|------|------|------|-----|
| 循環資源       | 金属      | 72.2 | 60.3 | 62.4 | ton |
|            | 紙       | 12.9 | 12.2 | 11.6 | ton |
|            | ダンボール   | 14.0 | 15.1 | 14.9 | ton |
|            | 木材      | 3.2  | 3.2  | 3.8  | ton |
| 資源リサイクル    | 金属      | 4.8  | 0.1  | 2.8  | ton |
|            | ウエス     | 8.8  | 8.3  | 6.8  | ton |
|            | 廃プラスチック | 13.9 | 17.5 | 14.1 | ton |
|            | ゴム      | 10.8 | 7.5  | 7.3  | ton |
|            | 木材      | 1.5  | 2.9  | 2.5  | ton |

| 排出・廃棄     |  | 2022   | 2023   | 2024   |                |
|-----------|--|--------|--------|--------|----------------|
| 排水        |  | 13,657 | 19,384 | 19,710 | m <sup>3</sup> |
| 第一種指定化学物質 |  | 1.0    | 1.3    | 1.4    | ton            |
| 廃液 / 汚泥   |  | 31.9   | 28.7   | 25.8   | ton            |
| 廃油        |  | 1.8    | 1.2    | 1.6    | kℓ             |
| 塗料 / 接着剤  |  | 4.8    | 4.5    | 4.5    | ton            |

